

# ケアマネ通信おびひろ

## 第46号

帯広市介護支援専門員連絡協議会

発行 平成27年1月5日

発行責任者 佐藤 勇宏

### 《目次》

1. 帯広市ケアマネ連協・研修会『対人援助技術について』  
(地域包括支援センター帯広けいせい苑 竹内 美代子さん)
2. 帯広市ケアマネ連協・第3回災害机上訓練(居宅介護支援事業所はるか 佐藤 勇宏)
3. 癒しのオフタイム(ジャパンケア帯広南 上田 綾子さん)
4. 北海道介護支援専門員協会研修会「医学的な知識をマネジメントにどう生かすか」  
(開西病院在宅ケアセンター 菅野 咲子さん 居宅介護支援事業所向日葵 石塚 圭子さん)
5. 帯広市ケアマネ連協・ケアマネ交流会『ポウリング大会』  
(地域包括支援センター帯広市社会福祉協議会 藤原 恭子さん)

## ケアマネ連協研修会『対人援助技術について』

地域包括支援センター帯広けいせい苑 竹内 美代子

去る11月16日(日)十勝リハビリセンター会議室において、帯広市介護支援専門員連絡協議会の研修会に参加しました。

長野県安曇野市の中村 雅彦氏による「対人援助技術について」学んでいます。

日々、利用者宅に訪問し面接していますが、クライアントの抱えている問題や性格は多種多様であり、面談も難しい場面が多々あります。研修に参加して対人援助技術の話聞く事で、改めて自分の関わりと向き合い、振り返る機会になりました。

適切ではないプランの目標の話には、自分も同じような目標を立てた経験があり、恥ずかしい思いでいっぱいでした。3時間の研修に臨むにあたり、最初は長いのではという思いもありましたが、説明の合間に隣の人と話合う時間があり、一緒に考える事で会話を通して新しい気づきも出来て、時間も短く感じられました。

時々、このような話を聞く機会が持てて、コミュニケーション技術が向上し、より良い支援が出来る様になればと思います。

研修会の準備等、忙しい中有り難うございました。



# 災害対策机上訓練に参加して

居宅介護支援事業所はるか 佐藤 勇宏

今年度の災害机上訓練は、日本介護支援専門員協会災害対策特別委員会の山崎正之先生より、神奈川県協会の取り組みについての話を聞きました。

東日本大震災の被災地支援の動きや実際に行った活動についての報告を受けた中で、報道されない被災地の厳しい現実を目のあたりにした時の思いや被災された方々にケアマネとして、どのような支援ができるのかと苦悩したことなど、実際に現地に行って、感じたことや取り組みを通じて学んだことなどの話を聞き、自分自身も同じ状況になった時に何ができるのだろうか、災害時はケアマネジャーとしてだけではなく、相談職として視野を広げ様々な視点で沢山の人を支援する姿勢が大切だと思いました。

近年、豪雨や豪雪などの自然災害が全国各地で起こっています。私たちの住む十勝帯広でも、いつどんな災害が起こるかわかりません。講義の後に行った、机上訓練でも今回は、行政機関や病院関係者の参加もあり、災害時の各専門機関の連携の重要性を改めて学ばせて頂きました。

昨年もそうでしたが、災害机上訓練に参加した当初は、災害時の対策を事業所やケアマネ連協としてきちんと検討しておかなければならないと強く思いつつも、多忙な業務に追われ時間が経つにつれ、その意識が薄れてしまいます。そういった意味でも災害机上訓練は、継続していく必要があるのだと感じています。

また、今回の研修で頂いた「災害対応マニュアル」を参考に、事業所としての災害対応マニュアルを早急に作成していくことが重要であると実感しました。



# 癒しのオフタイム～私のお気に入り～



ジャパンケア帯広南

上田 綾子

ケアマネジャーとして6年経ち、

正直、自分でもここまで続けてやっているとは思っていませんでした。

ケアマネの資格を取ったのも腰を痛めたら現場で働けなくなるからな～っといった保険的な意味合いで取り、ケアマネをするにあたって折角資格を取ったから一回は経験した方がいいかな？といった軽い気持ちからでした。

いざ、ケアマネとして経験を積んでいくたびに、自分には向いていないと気持ちが落ち込んでしまうことが、ありましたが一緒に働く仲間と仕事モードとオフしにしてくれる趣味と飼い犬がいての事だと思います。

趣味といっても私は、インドアなので家にこもっていることが多いのです。読書・・・と言えば聞こえはいいのですが、漫画から始まって小説等色々なジャンルを休みの時に、読みふけったり絵を書くことに没頭したりしていますが、今一番の癒し？と言えば、飼い犬の存在でしょうか。

今年の4月に14年飼っていた犬が亡くなると、犬のいる生活が当たり前になっていた私にとっては、とても耐えられなくなりふらっと立ち寄ったペットショップで、今の犬と出会い衝動的に飼ってしまったことから早7か月たとうとしています。

オスのせいもあるのか、余りのわんぱくぶりに、朝夕関係なくかまって攻撃を仕掛けてくる犬と毎日格闘しています。

そんな格闘は、日々の仕事のことなど忘れさせてくれているのでしょう。

悩んでいたことに対して「何とかなる」という感じで、良い意味での切り替えしを与えてくれていることに感謝です。

くよくよ悩む性格で、昔はそのことで、体調も崩したこともありましたが、今は昔ほど悩まなくなったというより切り返しができるようになったことが大きな進歩とでもいいと思います。

そんな私を好きな趣味や飼い犬に癒されながらこれからもがんばって行ければいいな～と思っています。



最近、訪問先でもペットを飼っているお宅が増えているように思います。自分もそうですが、動物とのふれあいは本当に癒されますね。

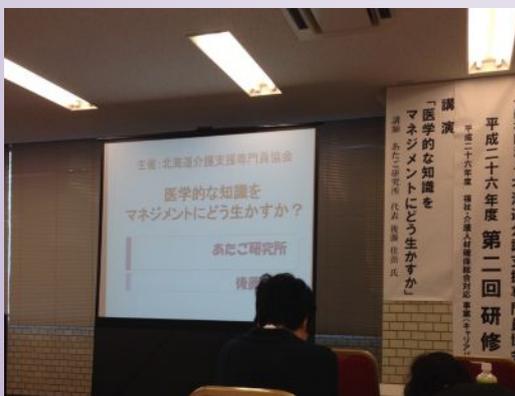
# 北海道介護支援専門員協会研修「医学的な知識をマネジメントにどう生かすか」

指定居宅介護支援事業所 向日葵 石塚 圭子

この度上記研修会に参加させていただきありがとうございました。今回の北海道介護支援専門員協会主催の研修の趣旨としては、医療と介護の連携が叫ばれて久しい中、地域包括ケアの法制化を受け、これまで以上にそのコーディネートをケアマネジャーは役割として求められることとなるため、このような研修の機会を作り知識を深める必要があるとのことでした。

研修内容：1、介護支援専門員の定義と義務、2、ケアマネジメントの定義と過程、3、医療連携におけるケアマネジャーの役割、4、知っておかなければならぬ医療外行為、5、事例演習

以上の内容で、特に印象に残ったのは4の医療外行為についてでした。事例検討の中で医療外行為か否かを判断しサービス事業所に依頼するという演習があり、思い込みや曖昧な認識が多いため適切な判断ができませんでした。例として、正常な皮膚等に装着したストーマ装具の交換を介護職員に依頼できるか否かをグループで検討しましたが、平成23年以降の通知で一定の条件により行えることを確認し、その都度根拠法令を確認していく必要性を実感しました。また、疾患の特徴や生活上の注意点などを主治医に確認を取り、可能な限り多職種と連携し必要な情報を得ることがプランの反映に必要であることを学びました。今後は制度の理解と医療との連携が速やかにできるよう心がけたく思います。普段は知り合えない地域の方とも話ができて充実した研修の機会をいただきました。



指定居宅介護支援事業所 開西病院在宅ケアセンター 菅野 咲子

研修へ参加させていただきありがとうございます。向日葵石塚さん、函館の東寺さん、お二人との出会いも本当に有意義で楽しいものでした。医学的な知識、データを利用者の方へ還元するための方法を勉強できる良い機会に、と考えておりましたが、ケアマネジャーが医学的知識を理解し、医療連携を図る目的のひとつに、“介護職を守る”という側面があることに気づかされる、まさに目からウロコの研修会でした。石塚さんも取り上げておられる医療外行為ですが、残念ながら私は例題の7問全てはずれました。さて、下の3つ、どれが医療外行為にあたるでしょうか。

- A. 電子体温計による口腔検温
- B. 一般薬局で購入した風邪薬の内服介助
- C. 1個20gのいちじく浣腸を2個使用した浣腸

(正解はCです)

# 平成26年度交流会「ボウリング大会」

## ボウリング&壁ドン♡そして総務部

ニックネーム きよっち

11月28日に行われた恒例の年末交流会！！  
今年はボウリング&飲み会でした。  
ボウリング34名の参加。  
なんととってもわがチームはレーン40という  
一番はじこのレーン。  
これがまた魔のレーンだったんです。  
チームメンバーは魔人ブーとたかしさんと一緒。



さあ、実力発揮！と行きたかったのですが、アレレ…ストライク！いやいやスペア…あれ取れない…  
どころかガーターの連続。

魔人ブーは、なんてこったと壁にドン！と悔しさをぶつけるのです。

向こうのレーンでははじける拍手、ハイタッチ。

私たちの実力は壁に阻まれてしまいましたが、でもおかげで、彼らはブー〇〇賞やブー〇〇メーカー賞を受賞したのでした。

久々に体を動かし、笑い、がっかりし、楽しい時間を過ごしました。

私は総務部ですので、交流会は企画から関わってきました。少し、総務部のことを書きますが、部員はみんなでたくさんの人に楽しんでもらい、交流を深めてほしいと思い、一生懸命考えています。

景品の買い物も、メンバー表もその他いろいろな準備も一生懸命です。

今回、表彰式は飲み会の“いろはにほへと”で行いましたが、みんなが宴会で飲んだり食べたりしている中、部員メンバーは表彰式の順位の確認や表彰状の準備をしていました。そんな姿を見て、頭が下がる思いでした。そんな部員の努力が影ながらあります。

なかなか参加しにくいという声も聞きますが、年1回の交流会を大切に、ぜひ多くの会員の皆さんに参加してもらいたいと思っています。

ちなみに、結果 優勝 けんたろう 328点  
準優勝 NOB 261点  
第3位 よしび 259点  
すばらしい！！

けんたろう  
さん優勝お  
めでとう！



今年は始球式に  
スペシャルゲスト  
としてボウリ  
ングマンが来て  
くれました。  
笠松会長との記  
念写真です。



【介護支援専門員連絡協議会からのお願い】

★連絡先や勤務先が変わったり、苗字が変更になった場合、HPにある「**入退会・変更届出書**」の書式を活用して速やかに届け出てください。

★会員への情報配信は可能な限りメールでの配信をお願いいたします。**メールアドレスの登録についてのご協力をお願い致します。**

★新規入会は随時受け付けています。入会申込書は、[ホームページ](#)から入手できますので詳細については事務局にお問い合わせ下さい。

（事務局 帯広市社会福祉協議会 金井）

～編集後記～

みなさま、あけましておめでとうございます。

今年もどうぞよろしくお願い致します。

12月の大雪にうんざりし、もう雪は勘弁してくれ~と思いながらも、この季節になると私の一番の楽しみがやってきます。

そう、知る人ぞ知る、氷上でのわかさぎ釣りです。

ここ数年はなかなか時間が作れず、大樹町のホロカヤントーに1~2度しか行けてませんが、今年は頑張っって最低1回は網走湖まで行くぞ~と今から気合がはいっています。

4月には大幅な介護保険制度改正が控えており、何かと落ち着かない日々ではありますが、みんなで力をあわせて、この難局を乗り越えていきましょう。

編集長 TS